

# 子供の防災教育浸透へ

検定を通じて災害時に命を落とさないための確かな行動が取れる子供を育てようと、防災検定協会（東京都千代田区）は23日、11月から「ジュニア防災検定」を実施すると発表した。東日本大震災では宮城、岩手、福島3県で死亡した未成年者が891人（2月末時点）に上るが、全国に広がっていない防災教育の浸透を図るのが目的という。

検定は、小学5年生までが対象の初級、小学6年生と中学1年生向けの中級、中学2、3年生向けの上級の3段階。初回は東京と大阪で予定しており、11月24日に初・中級で実施する。来年以降は全国の主要都市を中心に6月と10月の年2回行われる。

## 11月からジュニア検定

検定方法は、①家族と防災について話し合い、レポートをまとめる事前課題②ペーパーテスト③自分が住む地域に起こると予想される災害について壁新聞などにまとめる事後課題―を総合的に判定する。

元NHKキャスターで同協会の平野啓子理事長は「問題を解くことが行動につながる。『語り』と同じように人から人へ伝わっていくことが一番重要」と話している。

検定料は初級2千円、中・上級3千円。詳細は同協会ホームページ<http://www.jbk.jp.net/>。申し込み・問い合わせは同協会 ☎03・3556・5055。